

ぼらっと

底力は、
ここにある。

『ぼらっと』とは「ぶらりと」気軽に、「ボランティア」しましょう!!という造語です。

発行元

〒020-0541 雫石町千刈田82-2

雫石町総合福祉センター内

雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 FAX/691-1140

e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp

<http://www.shisha.or.jp/>

社協のBlogもチェックしてネ!

特集 8・9 ～雫石に結集! ボランティアの力!～



南は九州の福岡から、北は北海道まで、のべ2000名を超える多くの方々に活動していただきました。今号では、ボランティアの皆さんの活動を特集します。



八月九日(金)の豪雨災害以来、九月一日(日)まで、雫石町社会福祉協議会では、災害ボランティアセンターを設置し、復旧に尽力してくださるボランティアの方々を受け入れ、被災者の方の元へ派遣し活動してきました。



災害ボランティアセンターに寄せられる依頼内容は、家屋の泥出しや清掃、水に浸かってしまった家具や畳の運搬など重労働なものでした。



その土砂を、掻き出し、外へと繰り返し運び出します。水分を含んでいるので、詰め込みすぎると持ち上げることができないほど重くなります。ボランティアの方の中には、ベテランの方もあり、「土嚢袋を運ぶのにもコツがあるんだよ」と運び方を教えていただきました。さすが、効率も上がり作業がはかどります。肉体力労働ほど、効率が大切になるのだと感じました。



八月九日の災害は、「山津波」と表現する方もいるように床板をはがすと中には、大量の土砂が流入しています。

住居を中心に活動を行いました。時間が経つにつれて、泥はどんどん固くなっていきます。

この土嚢袋も、すべて運びだします。ボランティア活動を通して、人間の力を実感しました。

(裏へ)



前進一步 雫石



▲ 活動開始時は、ボランティアの数がかなり不足していましたが、土日は、善意の行列ができました。



▲ 資材は、沿岸部の社会福祉協議会やボランティアの皆さんから貸して頂き、物資の面での応援をいただきました。必要な分を積み込み出発！



▲ 家屋の中に入ったガレキや泥を丁寧に片付けます。汚れてしまったものでも、被害にあったお家の方にとっては大切なもの・・・。



▲ 被災地に出向いての活動だけが、ボランティアではありません。雫石のために活動するボランティアの皆様に炊出しボランティアの活動も行われました。また、様々な方々から寄附もよせられました。ありがとうございます。



▲ たくさんのボランティアの皆様に活動していただきました。

▲ 大人だけではなく、雫石高校の生徒さんも活動しました。ふるさと雫石町でのボランティア活動の経験が将来の糧となってくれたら・・・岩手のいや、日本の力です。

この度の災害に際し、被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げますとともに、雫石町でボランティアをして下さった皆様に感謝申し上げます。

編集後記

10月6日に予定しておりました「いきいき福祉まつり 2013」は、雫石町豪雨災害により延期とさせていただきます。詳細につきましては、後日、お知らせいたします。よろしく願いいたします。 武田



この度の活動を通して、日本全国から温かい気持ちと前に進んでいく勇気をいただいたように感じます。復興、復旧までの道のりはもう少し時間がかかるかもしれませんが、明けない夜はありません。頑張ろう、雫石！！